

一小の校内研修(一人1授業)

国語科の学習

令和2年9月25日(金) 第1校時 4年3組

<単元名> ごんぎつね

<学習について>

この単元は、次のような力を育てることをねらいとしています。

○物語「ごんぎつね」を読んで、感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づく。



この学習は12時間予定で、本時は10時間目です。これまでの学習の足跡が側面に掲示してあります。本時のねらいは次の通りです。

最後の場面での二人の主人公(ごんと兵十)の気持ちについて、自分の考えをまとめる。

活動1 ごんに対する兵十の気持ちとその後の心の動きを確かめる。



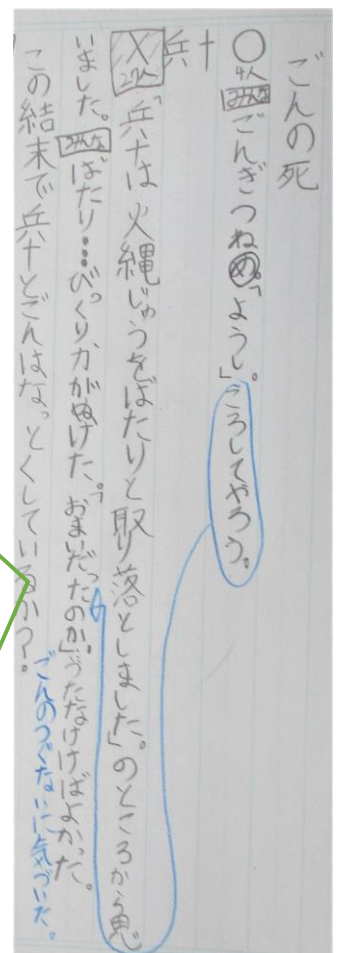
児童は教科書を何度も読み返し、手がかりとなる叙述を見つけています。



児童と教師が役割を分担して演技し、心情を想像する場面もありました。

「ごんの死という結末に兵十は納得しているのだろうか？」という問いに対する児童の考えです。

友だちの考えも参考にしながらまとめていました。



活動2 鉄砲で撃たれたごんの気持ちを考える。

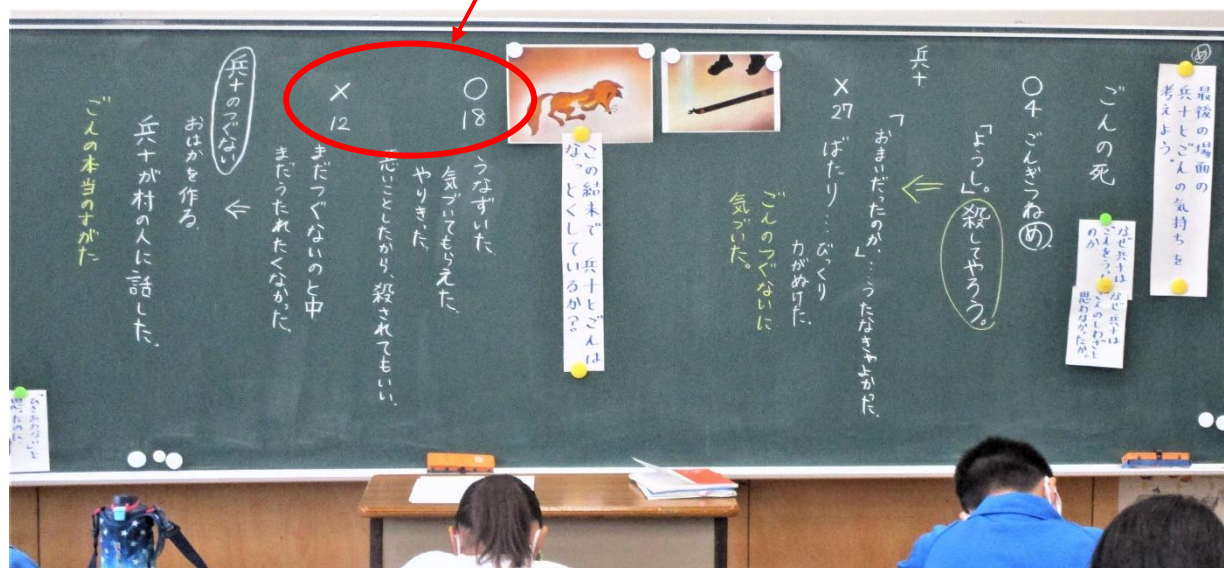


自分と違う感じ方をする
友だちの意見はとても貴重です。

いろいろな叙述に目をつけて、自分なりの考えをノートに書いていました。

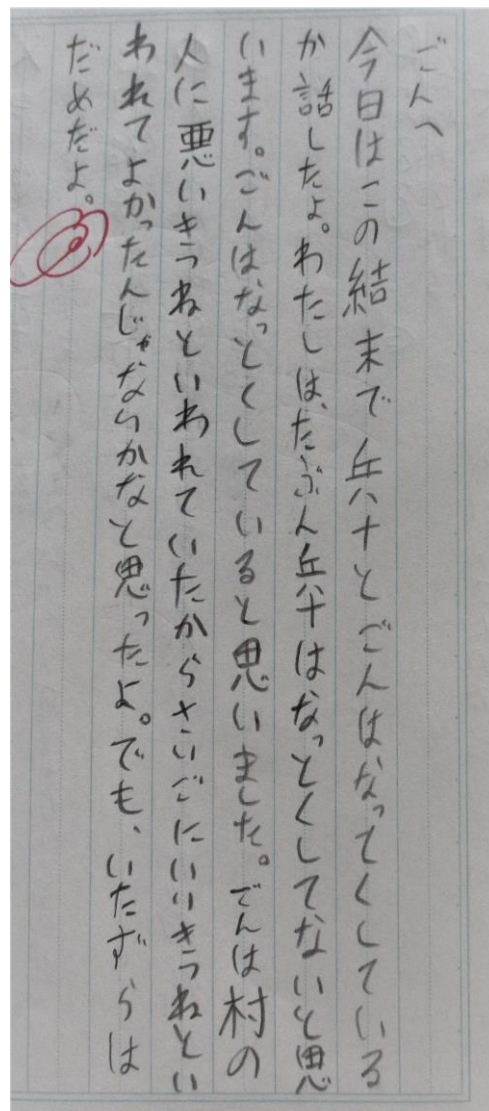
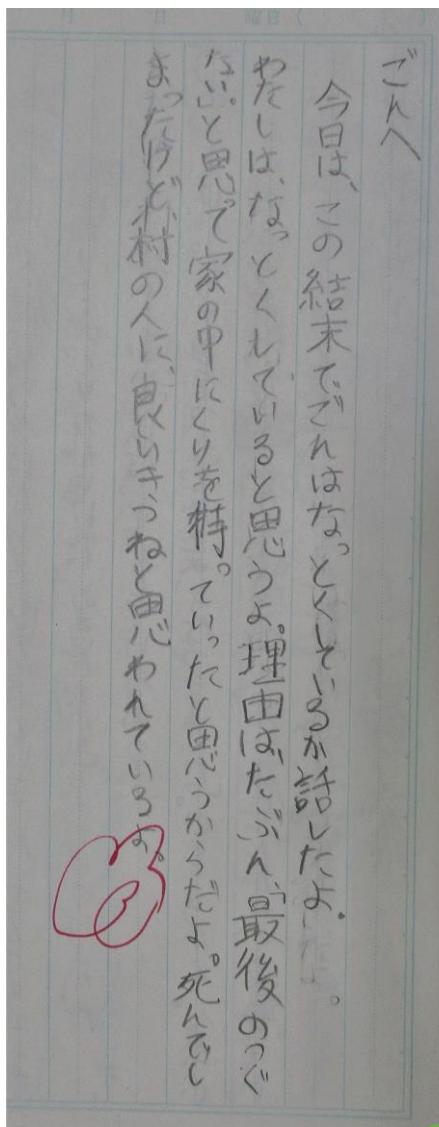


黒板には、主人公の心情を想像するための材料が分かりやすくまとめてあります。ごんの気もち（納得の度合い）は大きく分かれていました。



この結末で兵卒とづいにはなとくしているが。
 × 気づいてくれたのはうれしかったけど、まだあやまってもい
 ないし、お礼も言われていないから、うたこれたくなかった。

活動3 ごんへの手紙を書く。



子供たちはこれまでに様々な経験をしています、それは一人一人みな違ってきます。

同じ文章を読んでも、感じ方は様々ですが、友だちの考えのよさに気づきながら想像の幅を広げていました。

